

防衛大臣 小泉 進次郎 様

陸上自衛隊によるクマ被害防止の 支援活動に関する 報 告



秋田駐屯地への表敬訪問（12月3日）



自衛隊員による「箱わな」運搬の様子（東成瀬村）

令和7年12月
秋 田 県

防衛省・自衛隊の皆様には、我が国の平和と安全を守るため、日夜精励されていることに加え、豪雨や地震等の自然災害においても献身的に活動いただいていることに対し、深く敬意を表します。

このたびは、陸上自衛隊と秋田県との協力協定に基づき、去る11月5日から30日まで、当県において第21普通科連隊を主体とする秋田駐屯地の隊員に、ツキノワグマ被害防止の支援活動に従事していただきました。前例のない特殊な業務に多大なる御尽力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

10月28日に小泉防衛大臣への緊急要望後、小泉大臣の強力なリーダーシップのもと、速やかに調整を開始していただき、11月5日には協力協定の締結、同日中に鹿角市での支援活動が開始されるなど、極めて迅速に御英断、御対応いただきました。

県内12市町村において支援活動に当たっていただき、「地域の担い手不足により対応が困難であった平日の日中に活動していただき助かった」、「ドローンを活用した情報収集等により地域住民の安全・安心の確保に寄与していただいた」など、多くの感謝の声が寄せられたところであります。

皆様の確かな調整力と実行力により、現地の不安や負担が大幅に軽減され、県民に安心をもたらしていただいたことは、誠に心強い支えとなりました。

当県といたしましては、県民の命や安全・安心な暮らしを守り抜くため、このたび支援いただいた経験を生かし、国や市町村、関係機関と連携しながら、引き続き、全力でクマ被害の防止対策に取り組んでまいります。

温かい御支援、誠にありがとうございました。

令和7年12月

秋田県知事

鈴木健太

陸上自衛隊によるクマ被害防止の支援活動について

秋田県（生活環境部自然保護課）

1 活動の経緯

令和7年10月28日（火）

- ・ 知事が小泉防衛大臣に緊急要望
- ・ 自衛隊が本県入りし調整を開始

わずか8日で活動開始

11月5日（水）

- ・ 「クマ被害防止のための活動の支援に係る協力協定」を締結
- ・ 鹿角市において活動開始



緊急要望（10月28日）

2 活動の概要

（1）協定期間

令和7年11月5日（水）～11月30日（日）

（2）活動内容

- ・ 箱わなの運搬
- ・ 箱わなの設置・見回りに伴う猟友会等の輸送
- ・ 駆除後のクマを運搬・埋設のための掘開
- ・ 情報収集（ドローンの活用）

（3）主な活動実績

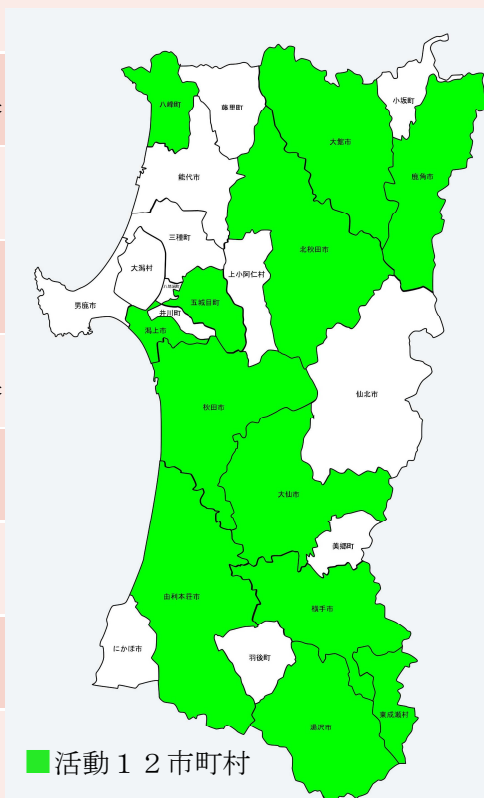
- | | |
|---------------|--------|
| ・ 活動範囲 | 12市町村 |
| ・ 活動人員 | 延べ924人 |
| ・ 箱わな運搬数 | 141基 |
| ・ 駆除後のクマ運搬 | 9頭 |
| ・ クマの埋設のための掘開 | 1回 |



箱わな運搬（秋田市）

3 各市町村における活動状況

市町村名	活動開始	主な活動内容
鹿角市	11/5	箱わな運搬、クマ運搬、見回り、情報収集
大館市	11/13	箱わな運搬、情報収集
北秋田市	11/11	箱わな運搬、クマ運搬、掘開、情報収集
八峰町	11/14	箱わな運搬、情報収集
秋田市	11/14	箱わな運搬、クマ運搬、情報収集
潟上市	11/20	箱わな運搬
五城目町	11/18	箱わな運搬
由利本荘市	11/19	箱わな運搬、クマ運搬、情報収集
大仙市	11/18	箱わな運搬
横手市	11/12	箱わな運搬、情報収集
湯沢市	11/12	箱わな運搬、見回り
東成瀬村	11/12	箱わな運搬、クマ運搬



市町村からの声

猟友会員の確保が難しい平日の日中に活動していただき非常に助かった

箱わなの運搬等についてスピード感を持って迅速に対応していただき感謝している

ドローンを活用した情報収集により地域住民の安心につながった など

4 活動の様子



箱わな運搬（大館市）



箱わな運搬（横手市）



箱わな運搬（湯沢市）



駆除後のクマ運搬（由利本荘市）



埋設のための掘開（北秋田市）



ドローンによる情報収集（鹿角市）

※写真：陸上自衛隊提供